

あなたにとって、住まいとは何ですか？

今までに『すまいづくり』をはじめようとしているあなた。漠然としたイメージだけで進めようとしていませんか。

それはあなたにとって本当に必要な住まいなのでしょうか。

まずはスタート地点に立って考えてみましょう。

あなたやあなたの家族にとって、住まいとは何なのかを。

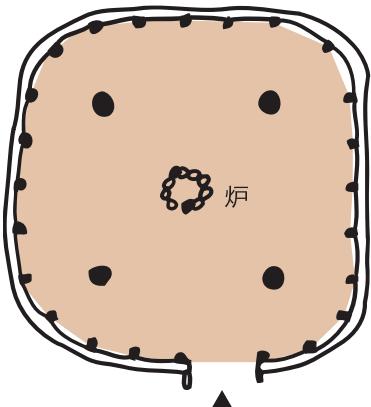
以下の項目について、該当するものにチェックをつけてみてください。

- いつかは家を建てるときから決めていた
- 方眼紙を見るなど間取りを書いてしまう
- テレビCMなどの住宅で暮らしたいと思う
- 住宅ローンを払ってやっと一人前になれる
- 何も決まっていないが、子ども部屋については具体的なイメージをもっている
- 家を建てたら、自分自身や家族との関係が変わると思う
- 家を建てたら始めたい趣味がある
- アパートやマンションでは子どもが伸び伸びできなくてかわいそうだ
- 家賃が住宅ローンと同額なら、家を建てた方が得だ
- 注文住宅を建てるなら個性的な住まいがいいと思う
- 住むなら絶対に新築だ
- 家があれば家族が幸せになれる

いくつチェックがつきましたか？

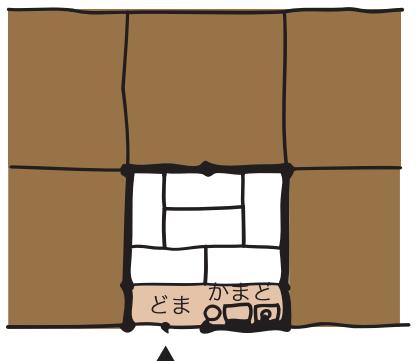
今度はあなたがチェックした項目について、自ら反論してみてください。

そして、あなたやあなたの家族にとって、本当に必要な住まいとは何なのかをあらためて考えてみましょう。



竪穴式住居

この頃の住まいは雨風と寒さをしのぐだけ。
何人で暮らしたかは定かではありませんが、天気がよければ寝るのも屋外だったようです。



江戸の長屋

6畳一間に家族で暮らしていました。お店の並ぶ通りの奥に長屋があり、江戸の庶民は生涯借家で暮らしました。

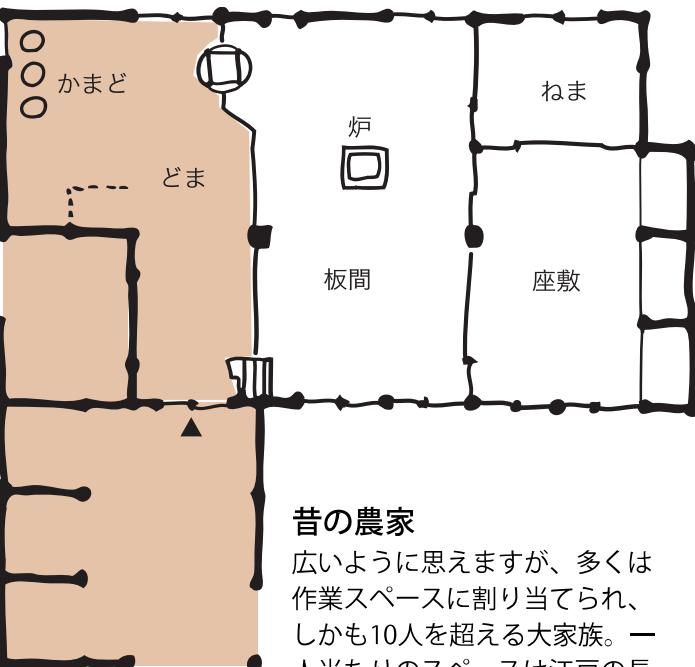
住まいの選択肢

「家賃並みの住宅ローンで家が建つ」とよくいわれます。確かに賃貸住宅の家賃は安くはないでしょう。しかし、賃貸住宅の場合は、補修費や固定資産税は大家さんの負担であり、この費用を考慮したうえで住宅ローンと比較する必要があります。さらに、賃貸住宅は子どもの成長や家族の変化に応じた住み替えが容易であることもメリットと言えます。

また、中古住宅の購入も選択肢のひとつです。

住宅数が世帯数を上回って久しく、空き家率が年々上昇するなか、国も中古住宅の流通市場活性化に向けた施策を進めているところです。良質な中古住宅を見つけることができれば、新築するより低コストで住まいを得ることができるかも知れません。

住み方は様々です。自分にあった住まいをあらためて考えてみましょう。



昔の農家

広いように思えますが、多くは作業スペースに割り当てられ、しかも10人を超える大家族。一人当たりのスペースは江戸の長屋と変わりありません。

設問に対する反論の例

いつかは家を建てるときから決めていた
家を建てることが目的になってしまふ。家は住むためのものです。

方眼紙を見るなど間取りを書いてしまう
間取りはすまいづくりにとってさほど重要なものではありません。また、日照や周辺の環境に大きく影響を受けます。間取りに関するイメージは一度すべて捨ててみてください。

テレビCMなどの住宅で暮らしたいと思う
CMやモデルハウスなどの住宅は一般的にとても高価な仕様です。住まいにそれだけのお金がかかる人なら余裕があって当然です。

住宅ローンを払ってやっと一人前になれる
何ごともやり遂げることは尊いことであり、その覚悟は人を強くします。しかし、それが住宅ローンである必要があるでしょうか。

何も決まってないが、子ども部屋については具体的なイメージをもっている
あなたの子どもたちは、あなたの思い描くイメージ通りにその部屋を使うかどうかはわかりません。

家を建てたら、自分自身や家族の関係が変わると
変えるのは住まいではなく、あなたとあなたの家族です。遠い未来はわかりませんが、残念ながら現在の住宅にはそのような機能は備わっていません。

家を建てたら始めたい趣味がある
今から始めてください。

アパートやマンションでは子どもが伸び伸びできなくてかわいそうだ
住宅ローンの一部を貯金して、年に数回家族でキャンプや旅行に出かけてみましょう。その方が子どもはずっと伸び伸び育つかも知れません。

家賃が住宅ローンと同額なら、家を建てた方が得だ
家を建てるとき住宅ローン以外にも、修繕費や固定資産税などが必要です。借家であればこれらの費用は大家さん持ちです。また、ライフスタイルの変化に応じた住み替えも容易です。

注文住宅を建てるなら個性的な住まいがいいと思う
個性はあなたのものです。住まいに代弁してもらう必要はありません。

住むなら絶対に新築だ
新築した住宅も、あなたが住んだ瞬間に他人から見れば中古住宅です。

家があれば家族が幸せになれる
あなたはとても疲れているのかも知れません。